

春・秋の花壇コンクール「小・中・高等学校の部」について  
(受付日：令和6年4月25日)

Q 春・秋の花壇コンクール「小・中・高等学校の部」について、地域住民は、学校の花壇の維持管理にどのくらい関わればよいのか。地域主体で維持管理をしている学校もあり、学校の花壇ではなく、地域団体の花壇の評価になっているように感じる。

A 学校の花壇は、美化活動の一環として、また、生命愛護意識の醸成を図ることなどを目的に設置されています。

花壇コンクールの学校部門は、花づくりを通じた子どもたちの情動的な教育効果を期待するとともに、「花いっぱい運動」を次世代へも継承することを目的に、新たに平成30年度に創設しました。

花壇の維持管理は、学校ごとに児童数が異なるなど、それぞれの事情を考慮する必要があると考えています。そのため、地域住民の皆様のご協力については、基本的には各学校の判断に任せていますが、本市では、コミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を一体的に進めており、花壇の整備や手入れは、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、地域の方々にご協力をいただいているところです。

また、子どもたちが、花壇の整備を通して地域の方々と交流を深めていくことは、地域に対する愛着や地域の一員としての意識を醸成していくうえで、大きな効果があるものと考えています。

都市政策部 公園緑地課  
教育委員会 社会教育課